

## ■12月10日

全日空、2014年国際線夏スケジュール、羽田昼間時間帯、6路線を新・増設、成田—ロンドン線は運休

全日空は9日、2014年国際線夏スケジュールを発表した。今年10月に獲得した羽田空港の昼間時間帯発着枠11便分についてすべて就航を計画し、ベトナムやインドネシアなどアジアを中心に6路線を新・増設する。これにより、同社が羽田から昼間時間帯に就航するデスクティネーションは5地点8便から13地点16便となる。

羽田より新規就航するのは、ロンドン、パリ、ハノイ、ジャカルタ、マニラ、バンクーバーの6路線が1日1便ずつで就航、又増便するのは、バンコク、シンガポールが1日1便ずつ増便。

ドイツの1日2便分と中国・北京への1日1便分は、運航スケジュールなどを確定してから改めて案内する。

なお、羽田～ロンドン線と羽田～パリ線には、3クラスのB777-300ER 型機を投入、同社の羽田空港発着国際便機材で初めてファーストクラスを設定する。増築される羽田空港国際線ターミナルでは、ラウンジの拡張や新たなサービスなども予定している。

一方、現在一日一便運航している成田空港発着のロンドン線は運休する。併せて成田—シンガポール、成田—バンコク線は週14便から週7便と減便を発表した。

全日空はアジア向け国際線を成長戦略の中核に位置づけている。国内線との乗り継ぎが便利な羽田空港は日本と海外を結ぶハブ空港と位置づけ、成田国際空港はアジアと北米などを結ぶ路線の乗り継ぎ拠点としてすみ分けを図る。

来年3月30日から羽田空港を発着する日系航空会社の国際線は、1日当たり26便から42便に拡大する予定。既存の路線を含め羽田発着の国際線は17路線となるが、10路線がアジア向けとなる見込みだ。国際線発着枠の傾斜配分の結果、羽田を発着する国際線は全日空24便に対して日航は18便と差が出ることになる。ハノイ、ジャカルタ、マニラ向けは全日空が独占的に手がけることになる。

(トラベルビジョン)12/9

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59861> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59861>)

(日経)12/9

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090QO\\_Z01C13A2TJ0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090QO_Z01C13A2TJ0000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090QO\\_Z01C13A2TJ0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090QO_Z01C13A2TJ0000/))

(日刊航空)12/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1210-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1210-02.pdf>) (-> )

(ANAプレスリリース)12/9

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-128.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-128.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-128.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-128.html))

\*出典:ANAプレスリリース

(1)新規開設

| 路線        | 便名    | 出発時刻<br>(現地時間) | 到着時刻<br>(現地時間) | 運航開始日 | 機材         | 備考 |
|-----------|-------|----------------|----------------|-------|------------|----|
| 羽田ーロンドン   | NH277 | 11:30          | 16:00          | 3月30日 | B777-300ER |    |
| ロンドンー羽田   | NH278 | 19:35          | 15:15+1        |       |            |    |
| 羽田ーバリ     | NH215 | 10:25          | 15:45          | 3月30日 | B777-300ER |    |
| バリー羽田     | NH216 | 21:10          | 16:00+1        |       |            |    |
| 羽田ーバンクーバー | NH116 | 21:55          | 14:55          | 3月30日 | B767-300ER |    |
| バンクーバーー羽田 | NH115 | 16:55          | 19:05+1        |       |            |    |
| 羽田ージャカルタ  | NH855 | 10:05          | 15:40          | 3月30日 | B787-8     |    |
| ジャカルター羽田  | NH856 | 21:25          | 07:10+1        |       |            |    |
| 羽田ーハノイ    | NH857 | 08:55          | 12:05          | 3月30日 | B767-300ER | ※1 |
| ハノイー羽田    | NH858 | 14:00          | 21:05          |       |            |    |
| 羽田ーマニラ    | NH869 | 09:55          | 13:30          | 3月30日 | B767-300ER | ※2 |
| マニラー羽田    | NH870 | 14:40          | 19:55          |       |            |    |

※1 3/30～4/30の間は、NH857 は10分早発着となります。6月からB787-8への機材変更を予定しております。  
 ※2 5月からB787-8への機材変更を予定しております。

(2) 增便

| 路線        | 便名    | 出発時刻<br>(現地時間) | 到着時刻<br>(現地時間) | 運航開始日 | 機材         | 備考 |
|-----------|-------|----------------|----------------|-------|------------|----|
| 羽田－シンガポール | NH841 | 11:05          | 17:20          | 3月30日 | B787-8     | ※1 |
| シンガポール－羽田 | NH842 | 11:50          | 20:00          |       |            |    |
| 羽田－バンコク   | NH847 | 10:50          | 15:25          | 3月30日 | B767-300ER |    |
| バンコク－羽田   | NH848 | 10:25          | 18:45          |       | B777-200ER |    |

※1 7月以降、順次B787-8への機材変更を予定しております。

(4) 運休・減便

| 路線        | 現行      | 変更後    | 実施時期     | 備考 |
|-----------|---------|--------|----------|----|
| 成田＝ロンドン   | 7 往復/週  | —      | 3 月 30 日 | ※1 |
| 成田＝シンガポール | 14 往復/週 | 7 往復/週 | 3 月 30 日 | ※2 |
| 成田＝バンコク   | 14 往復/週 | 7 往復/週 | 3 月 30 日 | ※3 |

※1 ANA が運航する成田＝ロンドンは運休いたしますが、ヴァージンアトランティック航空が運航するコードシェア便は引き続きご利用いただけます。

※2 NH111 および NH902 を運休いたします。

※3 NH953 および NH916 を運休いたします。

## 国交省、羽田空港発着枠拡大議論本格化

(目録によると)

国際線の拠点空港として羽田空港の重みが増している。今年10月の発着枠配分で当面の容量拡大策は打ち止めとなるが、2020年東京オリンピック開催も決まり、世界の玄関口として利便性の高い羽田拡張を議論する動きも出てきた。国際線の羽田シフトが進む中、成田は格安航空会社(LCC)で活路を広げられるかが焦点となる。

「タブーなしで議論する」。9日、国土交通省で開かれた首都圏航空の発着枠拡大に向けた有識者委員会。委員長を務める東大の家田仁教授は、東京上空飛行の可能性を検討するため騒音や飛行制限の内容など問題点整理を実施したことを明らかにした。

韓国の仁川などアジアのハブ空港競争に後れをとった日本の空港。アジアの成長に直面して「ヒト・モノ・カネ」の流れを取り込むため、あらためて羽田拡張議論が熱を帯びている。

羽田の国際線旅客数は順調に伸び、14年3月期には802万人と成田の4分の1の水準にまで膨らんだ。このため東京上空飛行のほか、管制業務の効率化、国内線発着枠の国際線への転用など幅広く探り、既存のインフラでも発着枠を増やせないか検討する見通しだ。

一方、成田空港も改革を急ぐ。乗り継ぎ客向けの店舗や休憩所などのインフラ整備に加え、成長余地の大きいLCC対策も課題。LCCを軌道に乗せるため、航空会社自身のコスト削減だけでなく、より使い勝手の良いアクセスなど利用者の視点にたった対策を複合的にたてる必要がある

(目経)12/9

<http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090SS Z01C13A2TJ0000/> (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090SS\\_Z01C13A2TJ0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD090SS_Z01C13A2TJ0000/)

中華航空、熊本—高雄、チャーター便運航、訪台需要を探る

中華航空は、台湾を観光する日本人向けに熊本と高雄を往復するチャーター便を2、3月に運航することが9日の件機外で明らかになった。熊本県は、県内から台湾への旅客需要を開拓し、将来の定期便の実現を目指したい考え。

県は台湾との定期便就航を目指し、中華航空と協議を続けている。熊本を中心に観光する台湾の人たち向けのチャーター便は8月23日から12月1日まで25往復50便が運航。搭乗率は95%で、約2800人が来県した。県交通政策課は「台湾からの需要の高さは実証された」としている。一方、熊本からの需要は未知数で、訪台チャーターで利用実績を示したいとしている。

(読売新聞)12/10

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kumamoto/news/20131209-OYT8T01191.htm> ( -> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kumamoto/news/20131209-OYT8T01191.htm> )

[japan/kumamoto/news/20131209-OYT8T01191.htm](http://japan.kumamoto/news/20131209-OYT8T01191.htm)

## 「アメリカン航空グループ」誕生、世界最大の航空会社誕生

米航空大手アメリカン航空の親会社AMRとUSエアウェイズが9日に合併を完了し、新会社「アメリカン航空グループ」が誕生することになった。合併による運航コストの削減など収支改善の効果は10億ドル(約1千億円)を見込む。

11年に連邦破産法11条の適用を申請して経営破綻したAMRは、合併に伴い2年余りで再建手続きを終える。

アメリカン航空グループは、2012年の旅客輸送実績を示す有償旅客キロは両社で計3378億人キロと、首位だったユナイテッド(3306億人キロ)を上回って世界最大となり、米航空業界はデルタ航空を含めた「3強体制」となる。

(47NEWS)12/9

<http://www.47news.jp/CN/201312/CN2013120901001932.html> (-> <http://www.47news.jp/CN/201312/CN2013120901001932.html>)

(アメリカン航空 ニュースルーム)12/9

<http://hub.aa.com/en/nr/amr-corporation-and-us-airways-group-come-together-to-build-the-new-american-airlines> (->

<http://hub.aa.com/en/nr/amr-corporation-and-us-airways-group-come-together-to-build-the-new-american-airlines>)

USエアウェイズ、「ワンワールドアライアンス」に加盟表明、来年3月31日

ワンワールドアライアンスは9日、AMRとの正式合併を発表したUSエアウェイズが、2014年3月30日にスターアライアンスを脱退し、2014年3月31日にワンワールドに正式加盟することを発表した。

ワンワールドではアライアンスの移行はシームレスに行われるとしています。また、すでにアメリカン航空、USエアウェイズが発表している通り、両社の単一運航への移行期間中、USエアウェイズは現在のロイヤルティ・プログラムを維持することになる。

(ワンワールド プレスリリース)12/9

[http://ja.oneworld.com/news-information/oneworldnews/-/asset\\_publisher/QtTQ7EuCzxhd/content/us-airways-to-join-oneworld-on-31-march-2014/maximized?redirect=http%3A%2F%2Fwww.oneworld.com%2Fnews-information%2Foneworldnews%3Fp\\_p\\_id%3D101\\_INSTANCE\\_QtTQ7EuCzxhd%26p\\_p\\_lifecycle%3D0%26p\\_p\\_state%3Dnormal%26p\\_p\\_mode%3Dview%26p\\_p\\_col\\_id%3Dcolumn1%26p\\_p\\_col\\_pos%3D2%26p\\_p\\_col\\_count%3D5](http://ja.oneworld.com/news-information/oneworldnews/-/asset_publisher/QtTQ7EuCzxhd/content/us-airways-to-join-oneworld-on-31-march-2014/maximized?redirect=http%3A%2F%2Fwww.oneworld.com%2Fnews-information%2Foneworldnews%3Fp_p_id%3D101_INSTANCE_QtTQ7EuCzxhd%26p_p_lifecycle%3D0%26p_p_state%3Dnormal%26p_p_mode%3Dview%26p_p_col_id%3Dcolumn1%26p_p_col_pos%3D2%26p_p_col_count%3D5) (-> [http://ja.oneworld.com/news-information/oneworldnews/-/asset\\_publisher/QtTQ7EuCzxhd/content/us-airways-to-join-oneworld-on-31-march-2014/maximized?redirect=http%3A%2F%2Fwww.oneworld.com%2Fnews-information%2Foneworldnews%3Fp\\_p\\_id%3D101\\_INSTANCE\\_QtTQ7EuCzxhd%26p\\_p\\_lifecycle%3D0%26p\\_p\\_state%3Dnormal%26p\\_p\\_mode%3Dview%26p\\_p\\_col\\_id%3Dcolumn1%26p\\_p\\_col\\_pos%3D2%26p\\_p\\_col\\_count%3D5](http://ja.oneworld.com/news-information/oneworldnews/-/asset_publisher/QtTQ7EuCzxhd/content/us-airways-to-join-oneworld-on-31-march-2014/maximized?redirect=http%3A%2F%2Fwww.oneworld.com%2Fnews-information%2Foneworldnews%3Fp_p_id%3D101_INSTANCE_QtTQ7EuCzxhd%26p_p_lifecycle%3D0%26p_p_state%3Dnormal%26p_p_mode%3Dview%26p_p_col_id%3Dcolumn1%26p_p_col_pos%3D2%26p_p_col_count%3D5))

(Flyteam)12/9

<http://flyteam.jp/news/article/29661> (-> <http://flyteam.jp/news/article/29661>)

仁川空港、第二旅客ターミナル、工期の前倒しを検討

(中央日報によると)

2017年12月完工予定の仁川(インチョン)国際空港第2旅客ターミナル工事に弾みがつく見通した。仁川国際空港公社の鄭昌洙(チョン・チャンス)社長は6日、「第2ターミナルの工期をできるだけ前倒しする」との考えを明らかにした。就任6カ月を迎え本紙と行ったインタビューでのことだ。

鄭社長はまた、現在使用中の第1ターミナルにファーストラック出国場を東西に1カ所ずつ作る計画も明らかにした。出国場が増設されれば動線が分散し、繁忙期やピークタイム時のターミナル混雑が改善されるものとみられる。

詳細インタビューは下記URL

<http://japanese.joins.com/article/187/179187.html?servcode=400&sectcode=400> (-> <http://japanese.joins.com/article/187/179187.html?servcode=400&sectcode=400>)

(中央日報)12/9

<http://japanese.joins.com/article/187/179187.html?servcode=400&sectcode=400> (-> <http://japanese.joins.com/article/187/179187.html?servcode=400&sectcode=400>)

(->)

欧州航空安全庁、航空機離着陸時の電子機器使用許可

欧州連合(EU)の欧州航空安全庁は9日、航空機の離着陸時にスマートフォンやタブレット型端末などの電子機器が使えるよう規制を緩和した。離着陸時の電子機器の使用をめぐるのは、米連邦航空局(FAA)が10月にすでに規制緩和を発表している。

なお、通話などは依然禁止されているが、欧州委員会は解禁できるかどうか安全面の検討を進めるよう同庁に求めている。

(日経)12/10

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM09046\\_Z01C13A2FF1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM09046_Z01C13A2FF1000/) (-> [http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM09046\\_Z01C13A2FF1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM09046_Z01C13A2FF1000/))

フィリピン航空、成田線大幅増便、マニラ線3 便、セブ線2 便へ

フィリピン航空は12 月15 日から、成田—マニラ線を現在の1日1便から2便増便し1 日3 便へ、成田—セブ線は週6日の運航を1 日2 便へ増便する。使用機材はA330 型機やA321 型機。

(日刊航空)12/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1210-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1210-02.pdf>)

(NAAプレスリリース)12/9

<http://www.naa.jp/ip/press/pdf/20131209-philippine.pdf> (-> <http://www.naa.jp/ip/press/pdf/20131209-philippine.pdf>)

\* 出典:PRプレスリリース

| 成田—マニラ路線 |       |       |       |             |       |       |       |         |
|----------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|---------|
|          | 便名    | 成田発   | マニラ着  | 運航日         | 便名    | マニラ発  | 成田着   | 運航日     |
| 継続       | PR431 | 9:30  | 13:30 | 毎日          | PR432 | 15:00 | 20:10 | 毎日      |
| 増便       | PR427 | 15:55 | 19:55 | 毎日          | PR428 | 9:45  | 14:55 | 毎日      |
| 増便       | PR429 | 19:00 | 23:00 | 月・火・水・木・金・日 | PR430 | 12:50 | 18:00 | 月・火・木・日 |
|          |       | 19:30 | 23:30 | 土           |       | 11:45 | 16:55 | 水・金     |
|          |       |       |       |             |       | 13:20 | 18:30 | 土       |

使用機材: PR431/PR432 B777  
PR427/PR428 及び PR429/PR430 A321

| 成田—セブ路線                        |       |       |       |             |       |       |       |             |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------------|
|                                | 便名    | 成田発   | セブ着   | 運航日         | 便名    | セブ発   | 成田着   | 運航日         |
| 継続                             | PR433 | 14:25 | 18:45 | 月曜日以外       | PR434 | 8:00  | 13:25 | 月曜日以外       |
| PR433 便は月曜日を増便し、デイトー運航で継続致します。 |       |       |       |             |       |       |       |             |
| 増便                             | PR435 | 19:25 | 23:45 | 月・火・水・木・金・日 | PR436 | 13:00 | 18:25 | 月・火・水・木・金・日 |
|                                |       | 19:30 | 23:50 | 土           |       | 13:05 | 18:30 | 土           |
|                                |       |       |       |             |       |       |       |             |

使用機材: PR433/PR434 A330  
PR435/PR436 A321

JTA、11月輸送実績、利用者数、前年同月比5.9%減、利用率73.3%

日本トランスオーシャン航空は6日、2013 年11 月の輸送実績・速報値を発表した。これによると、月間旅客数は前年同月比5.9%減の23 万7,663 人となった。利用率は73.3%となり前年同月の74.5%と比べ1.2 ポイント低下した。

本土—沖縄(県外)路線の月間旅客数は前年比1.7%増の13 万2,408 人。沖縄県内路線の月間旅客数は前年同月比12.5%減の10 万4,943人。

(日刊航空)12/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(JTAプレスリリース)12/6

<http://www.churashima.net/jta/company/press/pdf/13077.pdf> (-> <http://www.churashima.net/jta/company/press/pdf/13077.pdf>)

\* 出典:JTAプレスリリース

## 1. 日本トランスオーシャン航空 (J T A)

| 路線名    | 旅客      |        |         |        |        |          | 貨物・郵便 |        |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|----------|-------|--------|
|        | 旅客数(人)  | 前年比(%) | 提供量(kg) | 前年比(%) | 利用率(%) | 前年利用率(%) | 重量(t) | 前年比(%) |
| 関西=那覇  | 21,374  | 101.1  | 26,340  | 100.3  | 81.1   | 80.5     | 197   | 119.2  |
| 福岡=那覇  | 44,934  | 107.4  | 52,300  | 100.2  | 85.9   | 80.2     | 398   | 140.4  |
| 羽田=石垣  | 11,817  | 111.1  | 17,135  | 128.8  | 69.0   | 73.2     | 92    | 88.3   |
| 羽田=宮古  | 5,490   | 99.8   | 8,935   | 100.4  | 61.4   | 61.8     | 42    | 100.5  |
| 関空=石垣  | 4,805   | 65.3   | 8,500   | 92.9   | 56.5   | 66.0     | 18    | 23.9   |
| 岡山=那覇  | 9,420   | 133.9  | 15,970  | 183.6  | 59.0   | 80.9     | 17    | 95.9   |
| 小松=那覇  | 6,127   | 96.5   | 8,960   | 90.5   | 68.4   | 64.1     | 15    | 109.1  |
| 中部=那覇  | 28,441  | 103.2  | 34,935  | 100.4  | 81.4   | 79.2     | 365   | 94.7   |
| 県外線計   | 132,408 | 101.7  | 173,075 | 103.3  | 74.9   | 75.1     | 1,145 | 101.2  |
| 那覇=宮古  | 46,628  | 83.5   | 60,605  | 85.8   | 76.9   | 79.0     | 541   | 93.5   |
| 那覇=石垣  | 46,839  | 91.9   | 76,915  | 101.4  | 60.9   | 67.2     | 623   | 99.4   |
| 那覇=久米島 | 11,476  | 133.5  | 17,130  | 111.3  | 67.0   | 55.9     | 62    | 96.0   |
| 県内線計   | 104,943 | 87.5   | 154,650 | 90.5   | 66.8   | 70.9     | 1,227 | 92.9   |
| 定期路線合計 | 237,351 | 94.9   | 327,725 | 96.8   | 73.3   | 74.2     | 2,372 | 96.7   |
| 不定期路線計 | 312     | 12.9   | 435     | 17.1   | 71.7   | 95.6     | 0     | ---    |
| 全路線合計  | 237,663 | 94.1   | 328,160 | 96.2   | 73.3   | 74.5     | 2,372 | 96.7   |